

定の実施等、本区の教育活動の支援に大きく貢献してくださっています。

奨学金の給付に関しては、中野ライオンズクラブさんからの寄付と中野区在中の多くの方からの寄付が財源となっておりますと聞きました。昨年、

本校からも1人選ばれました。卒業した生徒に連絡して、いただいた奨学金をどのように活用しているのか聞いてみました。コロナ禍でありま

すが、学校も再開し、都立高校で学業とテニス部の活動を楽しく行っているとのことでした。学校がアルバイトを禁止しているので、いただ

いた奨学金で、テニスのラケットとシューズを買い、後は無駄遣いをせずに学費に充てていると話していま

した。本人も保護者も奨学金をいただけると感謝していました。

最後になりましたが、中野区の教育の発展のために尽力されている中野区教育振興会に対し、重ねて敬意を表すとともに、我々受賞者一同、今後の中野区の教育発展のために力を尽くして参りますことを誓い、謝辞といたします。

令和2年11月12日

受賞者代表 田代 雅規

高校卒業を迎える奨学生から感謝の言葉

維持会員及び東京中野ライオンズクラブの皆様へ

自立

太田 百和

まず、私を奨学生に選び、誰もが得られるわけではない貴重なご支援をくださった皆様改めて感謝いたします。

沢山の本を買ってあれこれ読み漁り、時には遠くへ出かけて、常に自分の世界を思うまま広げていくことができました。

ただ、ほんとうの自由は私にとって依然遠いところにあります。それは自立を必要とするからです。この当たり前を、きちんと自分のものとしてさらに広い世界を進んでいくために一層精進してまいります。ありがとうございます。

三年間の感謝

浅山 詩虎

あつという間の三年間でした。初めての学び、体験、そして出会い

を通じて、この三年で多くのものを通じた。この三年で多くのものを通じた。自分の糧にできませんでした。家庭の事情で部活動ができなかったことは心残りですがその分勉強に打ち込み、学年内でもトップの成績を修めることができました。

特に今年は新型コロナウイルスの影響で今まで以上に自学自習が鍵となったので、問題集等奨学金にお世話になりました。

入試まで残り少ないですが、悔いの残らぬよう精進していきます。合格という形で母や支援してくださった方々に恩返しができるよう頑張りました。三年間のご支援有り難うございました。

高校生活の思い出

清水 椿

高校生活の三年間では、部活も行事も勉強も自分なりにバランスよく頑張れたと思います。特に部活では部長も務め、たくさんの経験をし、良い仲間に出会うことができました。

三年生に進級してからはコロナ禍で学校行事などが満足にできないこともあったけれど、その中でもできる範囲で全力で楽しみつっ、受験勉強に励んでいます。部活で学んだ諦

三年間の学び

上澤 実和

長いようで短い三年間でした。部活動に励み、友人や先生にも恵まれた充実した日々を送ることができました。また、短期の留学にも参加することができ、新しい環境で生活することは苦しいこともありましたが、それより大きな学びを得ることができました。

多くのことで悩み、苦勞したこともありましたが、それでも前に進むことができ、自らの糧となりました。今年コロナの影響もあり、不安が残る大学入試ですが、自分の道に進めるように精進していきます。三年間のご支援、本当にありがとうございました。

高校の三年間

佐久間 竜聖

この三年間とても充実した日々を